

Coexistence Manager for Notes

NotesとExchangeの共存を保証しリスクを最小化

ビジネスの稼働状況と効率を維持するためには、移行中または継続的な共存期間に、IBM® Notes®とMicrosoft® Exchange Serverのユーザが共同で作業できるようにすることが必須です。サードパーティの共存ソリューションがなければ、NotesとExchangeのユーザはプラットフォームをまたいだ公開ディレクトリの共有ができず、空き時間情報もアクセス不能になり、メールやカレンダーのデータが正しく変換されず、ビジネスの生産性が低下します。いずれも収益に打撃を与える事態です。市場にあるその他のソリューションでは、サイズに合わせた調整ができない可能性があります。また組織が他の方向に転換する際、

新しいDomino®データベースに履歴データを一度に保存しなければなりません。

Coexistence Manager for Notesは、NotesとExchange間のシームレスなコラボレーションを可能にし、NotesとExchangeの共存期間にわたってビジネスの生産性を維持します。NotesとExchangeのディレクトリ（ユーザ、グループ、リソース）を同期して、ユーザのコラボレーションを維持できます。また、複数のプラットフォーム間で空き時間情報のクエリを有効にすることもできます。作業のし忘れや遅延のリスクを軽減するため、定期的な会議やアクティブなメールを含めたEメールや予定表データの正確性を維持することも可能です。

メリット

- 共存する期間中、NotesとExchangeのユーザが共同作業、公開ディレクトリの共有、空き時間情報の確認、会議のスケジュール設定をできるようにすることで、ビジネスの生産性を維持
- Eメールとカレンダーのデータを、NotesとExchange間で送信された状態のまま正確に保持
- アクティブなEメールの内容をDominoデータベースに保存せずに処理
- あらゆるサイズの移行に応じて拡張
- 数々の移行を成功させてきた経験豊富なベンダーによるバックアップと24x7グローバルサポートを利用可能



Coexistence Manager for Notesには、NotesとExchangeのユーザが協力し、空き時間情報を確認して、ミーティングを設定できるなどの機能があります。

「Coexistence Manager for NotesとMigrator for Notes to Exchangeによって、移行のスケジュールを2ヶ月短縮することができました。とても頼りにしています。これらの製品を使うことで、Eメールの移行を100パーセントの精度で行うことができました。さらに、どのプラットフォームのメールボックスを使っても、社内のユーザ同士でミーティングのスケジュールや共同作業を行えるようになったのです」

Coca-Cola Bottling Co.Consolidated、技術サービス部門プロジェクトマネージャ、Mary Morabito氏

システム要件

DOMINOサーバ

Dominoバージョン6.5.1～
6.5.6、7.0.0～7.0.4、8.0.0～
8.0.2、8.5.0～8.5.3、9.0.1

EXCHANGE SERVER

Exchange 2016、Exchange
2013 (SP0、SP1)、2010 (SP0、
SP1、SP2、SP3)、2007 (SP0、
SP1、SP2、SP3)、2003

NOTESエンドユーザ ワークステーション

Notesクライアントバージョ
ン6.5.1～6.5.6、7.0.0～7.0.4、
8.0.0～8.0.2、8.5.0～8.5.3、
9.0.1

Outlookクライアントバージョン
2016以前、Outlook Web Access
2007、2010、2013

注意: この一覧には、最も基本的な要件のみ記載されています。システム要件の詳細な一覧については、quest.com/jp-ja/products/coexistence-manager-for-notes/をご覧ください。

特長

アクティブメール処理 — Exchangeユーザは、Outlook®クライアント上で高度なフォーマット設定やリアルタイムのNotesのコンテンツを利用できます。この機能には、暗号化、埋め込みボタン、ホットスポット、折りたたみ可能なセクション、タブ形式のテーブルなどが含まれます。Coexistence Manager for Notesを使用しない場合、Outlookにアクティブメール機能が表示されず、処理も不可能なため、真の共存を行うことはできません。

Dominoデータベースは不要 — 共存期間中も、Dominoデータベースにコンテンツを保存することなく、アクティブなメールを処理できます。別のDominoデータベースの設定、アクセス制御、メンテナンスを行う必要はありません。

拡張性 — Coexistence Manager for Notesの複数のインスタンスを導入すると、拡張性の向上に加えて、ロードバランシングとフェールオーバーを改善できます。

ディレクトリ同期 — NotesとExchange 2016 (および以前のバージョン) との間でディレクトリが同期されるため、エンドユーザは、自分のメールボックスの場所にかかわらず、ユーザ、グループ、リソースの共通リストを閲覧することができます。

空き時間情報 — NotesとExchange 2016 (および以前のバージョン) 間、Office 365® とホスト型Exchange間に空き時間情報の

クエリを提供し、メールボックスの場所に関係なく、ミーティングの設定や同僚のスケジュールの確認ができます。

カレンダー共有 — カスタムまたは繰り返して使用されるカレンダーの招待状が、プラットフォーム間を移動する際に正確に処理されます。これにより、NotesユーザおよびExchangeユーザは、自分のメールボックスの場所にかかわらず、他のユーザと連携してミーティングを設定することができます。

リンク追跡 — Notesの文書に埋め込まれたEメールのリンクが共存中も引き続き正確に動作するようにし、ビジネスの生産性を維持します。

QUESTについて

Questは、単調な管理タスクを減らし、ビジネスの成長に必要なイノベーションに集中できるよう、お客様をサポートします。Quest®のソリューションは拡張性とコストパフォーマンスに優れ、使いやすく、効率性と生産性を最大限に高めます。Questは、グローバルコミュニティの一員としてイノベーションに取り組むための環境をお客様に提供すると共に、お客様の満足を追求しています。今後も、Azureクラウド管理、SaaS、セキュリティ、労働力の流動化、データドリブンインサイトのための、包括的なソリューションの提供を加速してまいります。